

防災よこすか

第76号



写真提供 横須賀市消防局

「土砂災害機動部隊」

横須賀市消防局では、令和5年4月10日に「土砂災害機動部隊 (Landslide Task Force)」の運用を開始しました。

油圧ショベルとホイールローダーを2台の重機搬送車に常時積載し、迅速に災害現場に出動できる体制は神奈川県で初めてとなります。

令和6年能登半島地震では、緊急消防援助隊神奈川県大隊の一員として被災地へ派遣され、活動しました。





会長あいさつ

横須賀危険物安全協会

会長 大庭 大

はじめに、1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、犠牲になられた方々の御冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、令和5年は、関東大震災から100年の節目の年でした。この100年の間に私たちは、東日本大震災をはじめ、阪神・淡路大震災や熊本地震など、数え切れなほどの自然災害に直面してきましたが、その都度、先人たちの教訓と技術の進歩を武器に、より堅固な備えを構築し、災害の被害を軽減するとともに、復興支援活動を拡充させてきました。

また、2月6日に開催いたしました「令和5年度防災講演会」では、横須賀市で起こりうる自然災害についてお話を聞くことができました。横須賀市は、近年、幸いにも大規模な地震に直接見舞われることはありませんでしたが、三浦半島は能登半島と似通った地形であること、三浦半島活断層が縦横に横たわっているなど、災害の危機はすぐそこにあり、予断を許さない状況であることを改めて認識いたしました。

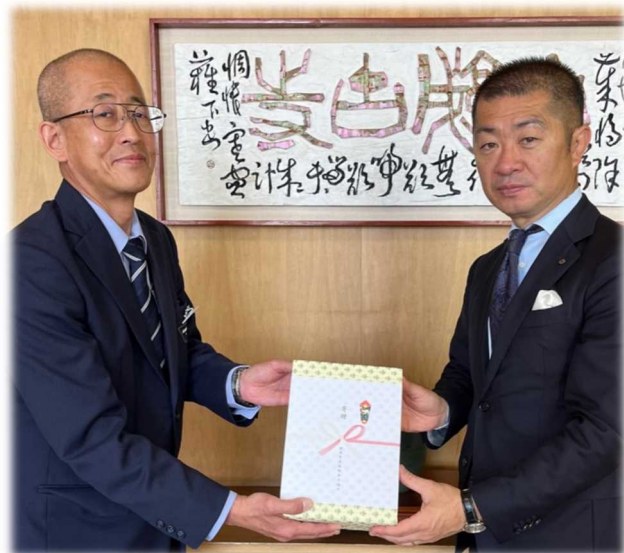
このような中、私たち横須賀危険物安全協会は、危険物に起因する火災・流出事故を防止するために、会員の皆様方の貴重な経験と情報の共有、教育及び啓発活動を推進してまいりました。これらの取り組みにより、大きな災害を発生させることなく今日に至っていることを誇りに思い、今後起こりうる未曾有の災害に対して、より一層「危険物保安」の普及啓発に努めてまいります。

結びに、会員の皆様、ご家族の益々のご繁栄とご健勝を心からご祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

《 地 域 貢 献 活 動 》

久里浜少年院へ危険物取扱者試験テキストを寄贈

地域貢献活動の一環として、令和5年4月13日(木)、久里浜少年院において、危険物取扱者の資格取得を目指す少年たちにテキストを10冊寄贈しました。



(写真左)久里浜少年院 後藤院長
(写真右)大庭会長



寄贈品

《 第 58 回 総 会 》

会場：よこすか平安閣

令和5年5月9日(火)、よこすか平安閣において、第58回総会を開催しました。以下の議案について審議が行われ、原案のとおり可決されました。

- 第一号議案 令和4年度事業経過報告
- 第二号議案 令和4年度収支決算報告
- 第三号議案 表彰取扱規程の改正(案)
- 第四号議案 令和5年度事業計画(案)
- 第五号議案 令和5年度収支予算(案)



《 危険物安全週間 》

令和5年度危険物安全週間推進標語「意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ」

令和5年6月4日(日)から6月10日(土)まで、全国一斉に「危険物安全週間」が実施されました。当協会の会員事業所では、施設の自主点検、保安教育、地震・津波対策の確認、消防訓練等の取り組みを行いました。

危険物安全週間に先立って、5月26日(金)に危険物保安セミナーを開催し、「給油取扱所の点検要領」等について講義を行いました。

また、5月28日(日)に湘南菱油株式会社様と横須賀市消防局が「防火・防災フェスタ 知っておこう！防災が未来を左右する！」を開催しました。当協会では、防火・防災広報の一環として「危険物の安全な取り扱い方法」の説明や「子供向けノベルティグッズ」の配布を行いました。



《 火災予防啓発活動 》

市内の小学3年生へ防火・防災クリアファイルを寄贈

令和5年6月26日(月)、横須賀市役所において、火災や地震の際にとるべき行動を掲載したクリアファイル3,000枚を横須賀市教育委員会に寄贈しました。今回から、石灰石から生まれた新素材「LIMEX(環境配慮素材)」で作成したものに変更しました。



クリアファイルデザイン



(写真左)新倉教育長
(写真右)大庭会長

《(一社)神奈川県危険物安全協会連合会表彰式》

令和5年7月3日(月)、横浜市中区の「神奈川県立かながわ労働プラザ」において、一般社団法人神奈川県危険物安全協会連合会の表彰式が開催されました。当協会の皆様が、次のとおり表彰されました。

●優良危険物事業所

- ・アディエント合同会社 追浜工場 様 (北ブロック)
- ・社会福祉法人栗山会 特別養護老人ホーム やまびこ荘 様 (南ブロック)

●優良事業所

- ・臨港タクシー株式会社 様 (中央ブロック)
- ・神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社横須賀支店 様 (南ブロック)

●優良危険物取扱者

- ・有限会社安西商店 安西 大明 様 (北ブロック)



○写真左から

- ・アディエント合同会社 追浜工場 大川 浩一郎 様
- ・社会福祉法人栗山会 特別養護老人ホーム やまびこ荘 栗田 義晃 様
- ・有限会社安西商店 安西 大明 様
- ・神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社横須賀支店 岩崎 智之 様
- ・大庭会長

《(一社)神奈川県危険物安全協会連合会表彰式》



臨港タクシー株式会社 様

《 第1回・第2回救急講習会 》

会場：ヴェルクよこすか

地域貢献事業の一環として、ヴェルクよこすかで救急講習会を2回にわたり開催しました。

第1回目は、令和5年9月12日(火)、「普通救命講習会」を開催しました。目の前で突然倒れた方の命を救うため、心肺蘇生法とAEDの使用方法等を学びました。

第2回目は、12月4日(月)、「外傷救護法講習会」を開催しました。交通事故や労働災害を想定した負傷者に対する「止血法」や「首の固定法」など、外傷救護活動に必要不可欠な手当てを学びました。



第1回救急講習会



第2回救急講習会

《 視 察 研 修 》

令和5年10月24日(火)、新型コロナウイルスの影響により中止されていた視察研修を4年ぶりに実施しました。「株式会社タツノ 横浜工場」及び「東京都水の科学館」の視察を行いました。24名の皆様にご参加いただきました。

視察研修記

八巻興業株式会社
八巻敏博

令和6年の清々しい春を迎え、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年10月24日、コロナ禍で暫く開催できなかった当協会主催の視察研修会に参加いたしました。

9時に横須賀を出発し、横浜市栄区の株式会社タツノ横浜工場へと到着。東海道線のすぐ隣にある工場で、電車の中から「タツノ」という社名がよく目立ちます。今回の研修で初めてガソリン計量機メーカーであることを知りました。私も以前、お客様への給油の経験があり、恐らくタツノさんの計量機で給油していたのではないかと思います。素晴らしいショールームを見学させていただき、地下タンクコーナーなど大変興味深く見学させていただきました。

見学後、アクアシティお台場のモンスーンカフェで昼食です。昼食後、アクアシティお台場をぶらぶらしましたが、ペット関連の大きなショップがあるのが印象的でした。

次の視察先は、有明の東京都水の科学館です。普段、何気なく飲んでいる水ですが奥多摩の水源林等を維持管理することで安心安全な飲料水が提供されていることを改めて認識いたしました。

最後に恒例となった中華街での懇親会で美味しい中華料理を堪能し、親睦を深めることも出来ました。

終わりに、この研修会を企画・実行していただきました事務局の皆様にご感謝申し上げますと共に、今年も会員企業の無事故・無災害と横須賀危険物安全協会の更なる発展を祈念して、視察研修記といたします。



《 秋季火災予防運動 》

2023年度全国統一防火標語「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和5年11月9日(木)から11月15日(水)まで、全国一斉に「秋季火災予防運動」が実施されました。当協会の会員事業所では、予防規程等に基づく自主消防訓練の実施及び危険物取扱設備等の点検等を実施しました。

会員事業所の秋季火災予防運動中の取り組みのご紹介

● 東京ガスライフバル飯田株式会社 様

- 総合消防訓練の実施
- 所 感 ～訓練を終えて～
横須賀中央ビルにて、総合消防訓練を行いました。
幸い天気も良く、各役割担当メンバーが素早く任務を遂行し、全員無事に避難することができました。
今回は、水消火器による初期消火を数名が体験し、万が一の時に備えた実りのある消防訓練となりました。



東京ガスライフバル飯田株式会社

● 社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院 様



総合病院 衣笠病院

- 危険物貯蔵施設の日常点検
- 所 感 ～点検を終えて～
当院では、地下タンクと屋内タンクで危険物(重油・軽油・灯油)を貯蔵し取り扱っております。漏えいがないか、各設備に不具合がないかなどの日常点検を実施しました。
危険物取扱者の資格を職員が取得し、更なる安全管理を高めております。



《 防 災 講 演 会 》

会場：セントラルホテル

令和6年2月6日(火)、「令和5年度防災講演会」を開催しました。講師に、宇津木 慎司 様をお招きし、『3Dハザードマップで確認する横須賀市で起こりうる自然災害』をテーマに、ご講演いただきました。会場聴講及びオンライン視聴により、55名の皆様にご参加いただきました。



《 春季火災予防運動 》

令和6年3月1日(金)から3月7日(木)まで、全国一斉に「春季火災予防運動」が実施されました。令和6年3月3日(日)、コースカバイサイドストアーズにおいて、横須賀市消防局予防課が「消防広場」を開催しました。当協会では、防火・防災広報の一環として「子供向けノベルティグッズ」の配布を行いました。



《 令和6年消防関係表彰式 》

令和6年3月16日(土)、横須賀市役所において、令和6年消防関係表彰式が開催されました。
当協会の皆様が次のとおり表彰されました。

◇横須賀市長表彰

- 優良危険物取扱事業所
・有限会社大洋興業運送 様（中央ブロック）
- 優良危険物取扱者
・サカエ株式会社 伊藤 直人 様(北ブロック)
・東邦化学工業株式会社 追浜工場 石垣 信一 様（北ブロック）
・日産自動車株式会社 追浜工場 中村 勇次 様（北ブロック）
・生化学工業株式会社 久里浜工場 亀井 智晃 様（南ブロック）
- 優良防火管理事業所
・株式会社オカムラ 追浜事業所 様（北ブロック）

◇消防局長表彰

- 優良危険物取扱事業所
・日本プラスチック・テクノロジーズ株式会社 神奈川工場 様（北ブロック）



○写真左から

- ・ 有限会社大洋興業運送 三浦 美登里 様
- ・ 生化学工業株式会社 久里浜工場 亀井 智晃 様
- ・ 日産自動車株式会社 追浜工場 中村 勇次 様
- ・ 大庭会長
- ・ 日本プラスチック・テクノロジーズ株式会社 神奈川工場 佐藤 康一 様
- ・ サカエ株式会社 伊藤 直人 様
- ・ 株式会社オカムラ 追浜事業所 野間 智志 様

協会員だより



株式会社大浜鉄工所
代表取締役 富澤 啓介

皆様、厳しい寒さが訪れる中、お元気でお過ごしでしょうか。協会員の皆様にはますますのご清祥をお祈り申し上げます。寒冷な季節ではございますが、心温まるひとときをお過ごしいただければ幸いです。

当社は昭和4年に設立され、横須賀海軍工廠浦賀船渠や石川島造船所などで陸上および艦船用の鉄鋼製品を製作し、その後、特に厚鋼板加工組立作業に尽力し、新製品の開発にも努めてまいりました。昭和40年には株式組織として発展し、横須賀追浜工業団地内に新工場を設立し、昭和53年には本社を追浜工場に移転しました。官公庁や業界各社への幅広い製品の納入実績を誇りにしております。当社の製品と技術は、皆様のご満足と信頼を得て、社員一同努力と研鑽を重ね、皆様のご要望にお応えする所存でございます。

また、防火・防災に対する当社の取り組みも大変重要なテーマでございます。建築物や施設では、防火設備の整備、避難経路の確保、建材・設備の防火性向上、災害対応の計画策定、そして防災啓発活動を積極的に行っております。これらの取り組みを通じて、安全な環境を確保し、災害に対する備えを整えております。

今後も一層の火災防止活動に尽力し、地域社会の安全を確保するために全力で邁進してまいります。消防局、各消防署の関係者の皆様、そして協会員の皆様に対して、ご指導のもとで協力し、より安全な社会を築いていくことをお約束申し上げます。何かお困りごとやご質問がございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。皆様のご協力に感謝申し上げます。



協会員だより



株式会社 ヨコソー

株式会社ヨコソー
代表取締役 佐藤 幹男

早春の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

株式会社ヨコソーは、明治41年(1908年)横須賀市に「齋藤塗工店」を設立したところから歴史が始まります。塗装業から始まった事業は、1世紀以上を経て、時代の変化やお客様のニーズにお応えする流れで形を変えていき、現在では建築物や構造物を総合的に修繕・改修する事業活動にまで広がってきています。具体的には、祖業である塗装業で培ってきた技術とノウハウをマンションの大規模修繕事業としてご提供させていただいております。

また、事業内容も給排水設備の工事を含め、建築物をトータルに修繕するだけでなく、マンションの専有部(各お部屋)や戸建住宅の内外装まで含めたりリノベーション工事もお提供しております。横須賀市をはじめ、神奈川県下においてはこれまでたくさんの大規模修繕工事、内外装工事、設備工事を手掛けさせていただいており、安心に暮らせる街づくりの一助となれていることに喜びを感じております。

日頃よりマンション大規模修繕工事や戸建内外装工事を行う際には、安全第一を念頭に、安全対策や災害・事故に対する注意喚起を行っております。また、災害や緊急事態を想定したBCP(事業継続計画)を策定し、社員に周知・習熟させる活動も行っております。当社の本社(横須賀市森崎)には危険物屋内貯蔵所がありますが、日頃の業務活動同様に危険物の取り扱いにおいて災害・事故が発生しないように管理・対応を続けてまいります。

今後も、防災に関して社員一人ひとりが意識を持って業務に取り組み、皆さまが安心して暮らせるまちづくりに貢献できるよう努力を重ねてまいります。これからも消防局、各消防署関係者、協会の皆さまのご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



令和5年中の横須賀市消防局管内における火災出動件数等

1 火災件数及び火災種別

火災件数は103件で、昨年と比べて6件増加しました。また、建物火災のうち、住宅(専用住宅・共同住宅・併用住宅)から発生した火災は38件で、昨年と比べて5件減少しました。

発生場所	火災件数	火災種別					
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他
横須賀市	90	54	0	9	1	0	26
三 浦 市	13	5	0	1	0	0	7

2 主な火災原因

火災原因の第1位は「電気関係」で22件、第2位は「放火(疑い含む)」で12件、第3位は「たばこ」で11件でした。

発生場所	第1位	第2位	第3位
横須賀市	電気関係 22 件	放火(疑い含む) 11 件	たばこ 11 件
三 浦 市	たき火 2件	放火(疑い含む) 1件	火遊び・溶断機 1件

※ 同件数の場合は、代表的な原因を記載。

3 火災による死者及び負傷者の状況

火災による死者は7人で、昨年と比べて1人減少しました。また、そのうち6人が65歳以上の高齢者でした。火災による負傷者は30人で、昨年と比べて15人増加しました。

発生場所	死 者	負傷者
横須賀市	4人	30人
三 浦 市	3人	0人

**住宅用火災警報器は、
10年を目安に交換を
おすすめします！**

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。
10年を目安に交換しましょう。

【設置時期を調べるには】 火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

New



Old

出典元：一般社団法人 日本火災報知機工業会

発行日 令和6年3月吉日

発行者 横須賀危険物安全協会 会長 大庭 大

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

電話 046-821-6469



横須賀危険物安全協会

ホームページ